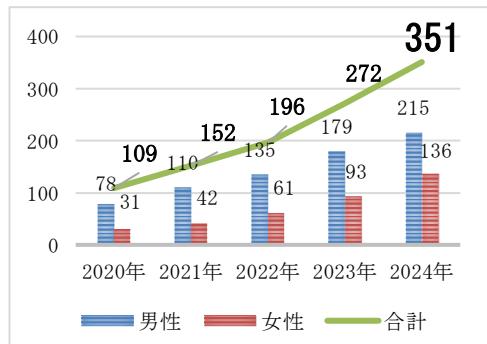


【速報】梅毒の感染者数が増えています！

横浜市における2024年梅毒報告数は、1999年4月調査開始以来351件と過去最多となっています。2025年は1月～4月までに届出数（※）が110件と、2024年同時期と比較し増加傾向にあります。

梅毒は、感染したまま適切な治療をうけずに放置すると、症状は段階的に進行し、死に至ることもあります。

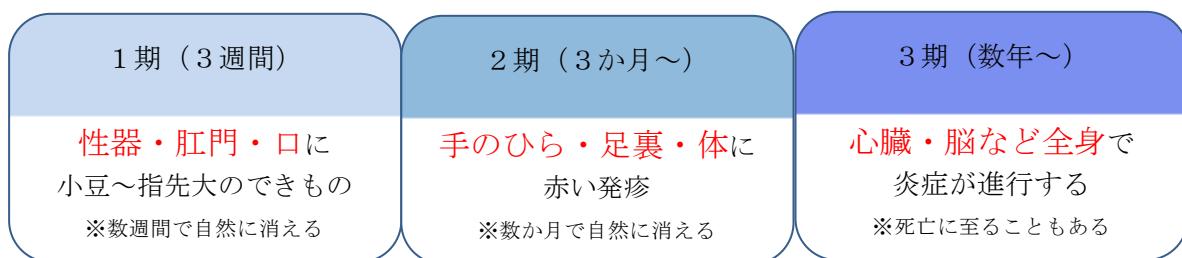
※横浜市感染症発生動向調査2025年5月28日時点。届出数は暫定値



1 梅毒とは

主に性的接觸で感染します。異なる時期の症状が出たり、無症状の人もいます。妊娠中に感染すると胎盤を通して胎児に感染させることができます。

＜主な症状の経過＞ 潜伏期間（3週間～6週間程度）



2 感染対策

梅毒は感染していても、感染に気がつきにくく、症状がなくても人に感染させる可能性があります。安全な性行為を基本として、正しい知識、早期発見・治療が重要です。

3 横浜市の取組

正しい知識	気になることがあれば
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生・大学院生への啓発 都市パートナーシップ協議会参加の30大学へ啓発資料の配布 ・横浜市WEBで啓発動画掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談 区役所福祉保健課健康づくり係で相談できます。 ・HIV・梅毒 無料匿名検査の実施 区役所・夜間検査会場で無料・匿名で受けることができます。

裏面あり

お問合せ先

医療局 健康安全課長 竹澤 智湖 Tel 045-671-2442



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



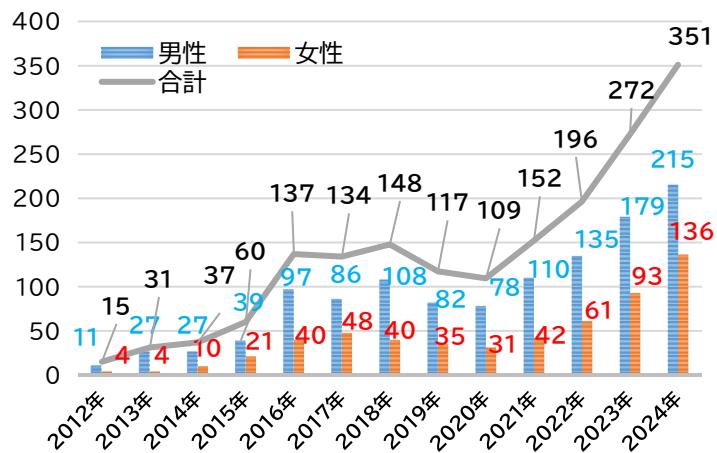
【参考】梅毒の治療について

梅毒は治療により完治できる病気です。感染が分かったらすぐに医療機関で治療を受けましょう。医師が治療終了と判断するまで、処方薬を確実に服用し続けましょう。

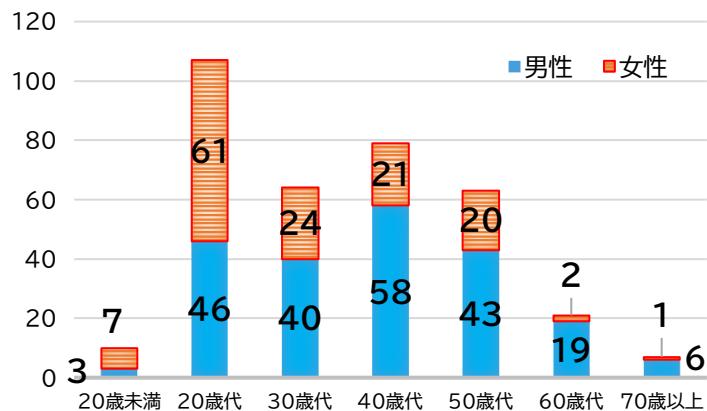
治療方法

- ・ペニシリン系などの抗菌薬（飲み薬・注射）で治療
- ・パートナーと一緒に治療を受ける

1 横浜市における梅毒患者数年次別（男女別）の推移報告 ※暫定値



2 横浜市における男女別年齢区分別報告数（2024年） ※暫定値



3 横浜市における2024年および2025年1月1日～4月30日における報告数 ※暫定値

